

商 団 連

第335号

平成26年5月1日

1部 50円

発行所
全国卸商業団地協同組合連合会
東京都港区虎ノ門1-8-10
セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)
電話 03-3591-1251(代表)
編集発行人 平澤和人

平成25年度 第2回

事務局長会開催

去る3月5日(水)、東京都港区芝公園のメルパルク東京3階「牡丹の間」において、平成25年度第2回商団連事務局長会が開催された。

当日は、北は北海道、南は沖縄の全国各地から70団地70名が出席した。今回は会員以外にも広く参加を呼びかけ2団地が参加した。

はじめに葛永英明事務局長会代表世話人の挨拶。来賓紹介に続き、全員協議会が開かれ、平成25年度事業及び収支中間報告、平成26年度事業計画案並びに収支予算案、平成26年度会費徴収案が審議されいずれも原案どおり承認された。その後、世話人及び監事の改選が行われた。新世話人及び

企業庁経営支援部商業課安久恵課長補佐より平成26年度中小企業関係予算案及び税制改正案の概要について、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部高度化事業企画課内山崇課長より、経営者保証に関するガイドラインについて及び企業連携支援アドバイザー派遣事業について、株式会社

商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より中小企業を取り巻く環境及び商工中金の業務運営について、全国中小企業団体中央会振興部丸山博志部長より卸商業団地機能向上支援事業について、住友生命保険相互会社全国共済推進室早川渉室長より商団連グループ保険についての説明が行われた。

当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)
〔中小企業庁〕
安久 恵(経営支援部商業課課長補佐)
〔独立行政法人中小企業基盤整備機構〕
今野 高(高度化事業部審議役)
内山 崇(高度化事業部高度化事業企画課課長)
澤田 公徳(高度化事業部高度化事業推進課課長)
山本國博(高度化事業部高度化事業企画課課長代理)
〔株式会社商工組合中央金庫〕

を述べていただき、その後、高崎卸商社協会の田中政貴事務局長及び協ベイトウ尾道の葛永英明専務理事より高度化資金の活用事例を発表していただいた。続いて、中小企業庁、中小企業基盤整備機構、商工中金を交えて、高度化事業を巡る諸問題について活発な意見交換が行われた。

〔全国中小企業団体中央会〕
丸山博志(振興部部長)
〔住友生命保険相互会社〕
青木 隆幸(本店審査第二部審査役)
早川 渉(全国共済推進室室長)

地区		組合名		役員		世話人		備考	
北海道		協石狩新港卸センター		専務理事	小林良悦	留任		備考	
東北		協仙台卸商センター		事務局長	浅野幸夫	留任			
		協青森総合卸センター		専務理事	藤本和夫	留任			
		高崎卸商社街(協)		専務理事	川岸一義	留任			
関東		協東京ベ・マルシェ		専務理事	湧川勝巳	留任			
		協熊谷流通センター		専務理事	及川亨	留任			
中部		協一宮繊維卸センター		専務理事	森昌宏	留任			
		協福井問屋センター		事務局長	福岡敬義	新任			
近畿		阪神総合卸商業団地(協)		専務理事	並河俊夫	留任			
		大阪船場繊維卸商団地(協)		専務理事	工藤寛士	新任			
中国		協松江流通センター		専務理事	小村幹夫	留任			
		協ベイトウン尾道		専務理事	薦永英明	留任			
四国		協徳島繊維卸団地		事務局長	田渕政広	留任			
		協福岡卸センター		事務局長	村嶋猛弥	留任			
九州		協長崎卸センター		専務理事	笠瀬伸一郎	留任			
		全国卸商業団地協同組合連合会		専務理事	栗原真	留任			
連合会				事務局長	平澤和人	留任			
〈顧問〉									
地区				役員	世話人			備考	
地区				役員	世話人			備考	
連合会				副会長	神戸厚	留任		備考	
〈監事〉									
地区		組合名		役員	世話人			備考	
関東		船橋総合卸商業団地(協)		専務理事	金子英昌	留任		備考	
		協横浜マーチャンディングセンター		事務局長	手塚茂男	留任		備考	

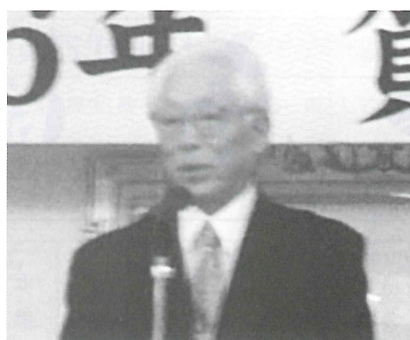
平成26年 賀詞交歓会



中小企業庁官 北川慎介氏



衆議院議員 細田博之氏



商団連 尾池会長



中小企業庁次長 横田俊之氏



商工中金社長 杉山秀二氏



中小機構理事長 高田坦史氏

平成26年1月16日(木)、東京都港区芝公園のメルパルク東京において新年賀詞交歓会が開催された。会員34団地42名、卸商業団地対策議員懇話会の先生方、関係諸機関の幹部の方々が多数出席され盛大に行われた。

はじめに会長の尾池良行氏より年頭の挨拶が行われた。会長は「店舗等集団化制度創設50周年を大きな節目として、会員団地の皆様方との絆を一層深め、会員団地の成長発展のため関係諸機関と密接な連携のもと、その時代時代に適応したニーズに基づき制度の改正や新たな制度の創設に尽力していきたい」と挨拶された。

つづいて来賓を代表して卸商業団地対策議員懇話会の会長をお願いしている衆議院議員の細田博之先生より「久々に明るい新年を迎えている。今年はいろいな意味で大変な年ですが共に大いに頑張ります」とのご挨拶をいただいた。引き続き、中小企業庁次長の横田俊之氏より「今年一年アベノミクスを地域中小企業に浸透させなくてはならない大変重要な使命があるので、是非商団連の皆様のお力添えをいただきたい」と挨拶された。中小企業基盤整備機構理事長の高田坦史氏より「一番大事なこととは民間が頑張るしかない。民間が頑張るって初めて成就する。我々は全力を尽くして応援します。」と挨拶された。

その後、商工組合中央金庫代表取締役社長の杉山秀二氏より「アカバカと浮いている風ではなく、上昇気流を機敏に捉えて自分の羽根、自分の翼でより高みを目指していく、そういう鳥になることが大事だ」との挨拶のあと、杉山社長の発声により乾杯が行われ、参加者一同和やかな歓談が行われた。中締め直前に中小企業庁の北川慎介長官も出張から駆けつけて、挨拶をしていた。

当日の主な来賓出席者は以下の通り(敬称略)

- (中小企業庁)
北川 慎介(長官)
横田 俊之(次長)
松永 明(事業環境部長)
安久 恵(経営支援部商業課長補佐)
(独立行政法人中小企業基盤整備機構)
高田 坦史(理事長)
陳山 繁紀(理事)
原山 正明(高度化事業部長)
今野 高(審議役)
澤田 公徳(高度化事業推進課長)
(株式会社 商工組合中央金庫)
杉山 秀二(代表取締役社長)
辛島 哲郎(取締役常務執行役員)
小野口 勇雄(執行役員人事部長)
日野 賀文(執行役員総務部長)
数井 寛(執行役員)
山本 聡(審査第二部長)
原田 芳憲(審査第二部上席審査役)
(全国中小企業団体中央会)
高橋 晴樹(専務理事)
小林 学(政策推進部副部長)
(全国卸商業団地厚生年金基金)
斉藤 英雄(理事長)
(住友生命保険相互会社)
須崎 晃一(代表取締役専務執行役員)
(公益財団法人流通経済研究所)
宮下 正房(名誉会長)
(卸商業団地対策議員懇話会)
衆議院議員(本人)
細田 博之、秋葉 賢也、福田 達夫、神山 佐市、松本 純、原田 憲治、逢沢 一郎、塩崎 泰久、井上 貴博
衆議院議員(代理)
津島 淳、大島 理森、鈴木 俊一、田所 嘉徳、小淵 優子、牧島 かん、江崎 鐵磨、谷 公一、盛山正仁、赤澤 亮正、小林 史明、新開 裕司、保利 耕輔
参議院議員(本人)
小坂 憲次、太田 房江
参議院議員(代理)
山本 一太、若林 健太、福岡 資廣、広田 一

役員会 開催

第5回役員会

平成25年度
事業中間報告

平成26年1月16日(木)、平成25年度第5回役員会が東京都港区芝公園のメルパルク東京において開催された。当日は役員22名が出席。

念事業報告②卸商業団地機能向上支援事業について審議し、いずれも異議なく承認された。

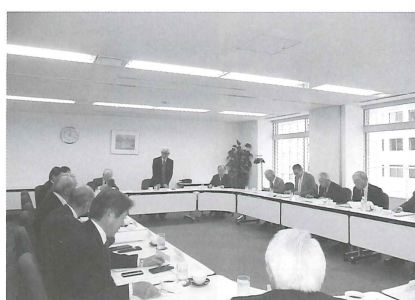
第6回役員会

平成25年度事業中間報告、平成26年度事業計画(案)承認

平成26年3月19日(木)、商工会館7階B会議室において、平成25年度第6回役員会が開催された。当日は役員20名が出席。平成25年度事業中間報告、平成26年度事業計画(案)について審議され、いずれも異議なく承認された。



第5回役員会



第6回役員会

正副会長会 開催

平成25年度
第2回正副会長会平成26年度
第1回正副会長会

承認された。

平成26年2月5日(水)、全国卸商業団地厚生年金基金会議室において、平成25年度第2回正副会長会が開催された。当日は6名が出席。平成25年度事業中間報告、平成26年度事業計画(案)、役員改選について審議され、いずれも異議なく承認された。

平成26年4月9日(水)、商団連会議室において、平成26年度第1回正副会長会が開催された。当日は全員出席。第47回通常総会提出議案について審議され、いずれも異議な



第1回正副会長会

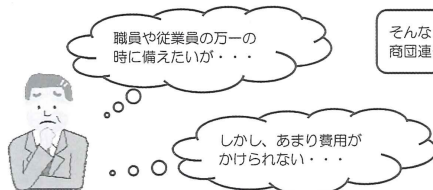
商団連福祉共済会からのお知らせ

商団連グループ保険は、商団連のスケールメリットを活かした手頃な掛金で、役員・従業員の福利厚生、慶弔見舞金制度の一環としての活用や、個人または家族の保障に活用できる制度です。

平成24年度より新規加入を促進するために「加入手数料」を設けておりますので、ご協力の程、よろしく願いいたします。

併せて、既往分の保険金額の増額もご検討下さいませようお願いいたします。

商団連グループ保険（会社掛）のご案内



そんなお悩みの事業者のみなさんへ
商団連グループ保険がぴったりです。



手厚い保障

病気死亡・高度障害、不慮の事故による死亡・高度障害
不慮の事故による障害・入院まで幅広く保障

加入資格

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方で
健康な方であれば、告知のみで申込みできます。
医師の診査も必要ありません。

手頃な掛金

例）40歳男性が保険金額100万円にご加入の場合
ひと月の掛金は282円

掛金の扱い

掛金は、会社負担となり福利厚生費として
全額損金に算入できます。

※他にも商団連独自の見舞金制度もあります。

ご加入年齢	病気死亡・高度障害保険金
15歳～70歳	100万円～1,000万円



パンフレット、お問い合わせは、
各組合事務局または商団連事務局（03-3591-1251）までお問い合わせ下さい。

全国卸商業地協同組合連合会（商団連）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階
TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

商団連グループ保険（ファミリープラン）のご案内

お手頃な掛金で病気死亡、不慮の事故による障害、入院にいたるまで幅広く保障

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々と、そのご家族で
健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

商団連独自の「見舞金制度」もあります。

ご家族のために「あと少しの保障がほしい！」と
お考えの方におすすめします。



全国卸商業地協同組合連合会（商団連）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階
TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

ご加入例 病気死亡・高度障害保険金200万円の場合

保障内容
病気死亡・高度障害200万円
不慮の事故による死亡・高度障害300万円
不慮の事故による障害最高70万円
不慮の事故による入院1,500円（1日につき）

ご本人さま40歳	配偶者さま40歳	お子さま10歳	お子さま8歳	ご家族合計
564円	481円	310円	310円	1,665円

パンフレット、お問い合わせは、
各組合事務局または商団連事務局（03-3591-1251）までお問い合わせ下さい。

「経済センサス」

平成26年経済センサスー基礎調査及び平成26年商業統計調査に係る協力のお願い

総務省と経済産業省は、平成26年7月1日に、平成26年経済センサスー基礎調査と平成26年商業統計調査を一体的に実施します。

経済センサスー基礎調査は、事業所及び企業の活動の状態を調査し、すべての産業分野における事業所及び企業の従業者規模等の基本的構造を全国及び地域的に明らかにすること、各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的として実施します。

商業統計調査は、商業を営む事業所について、産業別、従業者規模別、地域別等に従業者数、商品販売額等を把握し、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的として実施します。

これらの2つの調査は、国の重要な調査であり、調査の意義・重要性をご理解いただき調査にご協力をお願いいたします。

あなたの回答が、日本経済の力になる！ みんなが主役の調査です。

日本経済の力になる！

日本経済のいまを
知らないといと、
未来は見えてきません。

あなたの回答が、



◎全国すべての事業所、企業が対象となります。

◎調査票は平成26年6月末日までにお届けします。7月1日以降に提出をお願いします。

◎統計法に基づく調査で、調査票に記入して提出する義務があります。

◎調査に関するすべての情報は保護されます。

平成26年7月1日(火)

平成26年
経済センサスー基礎調査
商業統計調査

経済センサス

検索

商業統計調査

検索

<http://e-census-syougyou.stat.go.jp/>



総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです